

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和4年度第2回 近江八幡市子ども読書活動推進委員 会議		
開催日時	令和5年2月20日（月）15:00～16:30		
開催場所	水道事業所 会議室A		
出席者 会長◎ 副会長○	<子ども読書活動推進委員> ◎市島委員 ○工藤委員 藤田委員 南委員 岩田委員 徳山委員 三井委員 福地委員 <説明者・事務局> (挨拶) 東生涯学習課課長 (事務局) 国本生涯学習課指導主事 木村生涯学習課指導主事 (担当者) 北川幼児課課長補佐 船津学校教育課指導主事 前田学校司書 大澤学校司書 辻学校司書 森村学校司書 世古近江八幡図書館主査		
次回開催予定日	令和5年5月		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 木村 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・要約	要約した理由	

事務局	<p>1. 開会</p> <p>(1) 開会あいさつ</p> <p>こんにちは。お時間になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>それではただいまより第2回近江八幡市子ども読書活動読書活動推進委員会を開催します。私は事務局を担当いたします生涯学習課の木村と申します。よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、会に先立ちまして、生涯学習課課長の東がご挨拶申し上げます。</p>
生涯学習課 課長	<p>(2) 挨拶</p> <p>「第2回子ども読書活動推進委員会」を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。平素より、本市教育行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。日頃は、子ども読書活動の充実に向けて様々な方面でご尽力いただき、ありがとうございます。</p> <p>さて今年度は、就学前の保護者に向けた家庭での読書の啓発や小・中学生が本を手に取りやすくなるようなポスターの作成をはじめ、図書館と連携して読書ボランティアや市民の方を対象とした講演会・交流会を行いました。ポスター等の作成にあたっては、学校司書の皆さま、図書館の職員の皆さまにもご協力をいただき、ありがとうございました。</p> <p>本日の委員会では、今年度の取組のふり返りと、来年度の取組の検討を行います。日頃子どもたちと関わってくださっている委員の皆さんのご意見をいただき、来年度の取組がよりよいものになることを願っております。</p> <p>今後とも、皆様には、近江八幡市の子どもたちが読書を通じて新しい世界と出会い、心を豊かに育むために、なお一層のお力添えを賜りますことをお願いし私の挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。課長は、公務のため退席いたします。</p>
事務局	<p>本日の出席者は18名となっております。半数以上の出席ですので、近江八幡市子ども読書活動推進委員会設置要綱第6条第2項に関する取扱要綱により、本会議は成立しております。公開に関する取扱要綱により、本会議は公開され、会議終了後近江八幡市HPに議事が掲載されますことをご了承ください。また、本会議内容を録音いたしますので、ご了承ください。あわせて記録用に写真撮影をいたしますが、不都合がある方がいらっしゃいましたら、お申し出ください。よろしいでしょうか。では本委員会委員長の市島委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
委員長	<p>改めまして、みなさんこんにちは。委員長を務めさせていただきます市島です。本日もよろしくお願い致します。教育重点取り組み研修会が今年の夏に行われ、尾野三千代先生をお招きいたしました。先生の方から本で子どもの育ちを応援しよう、そのために大人の責任として本の力と子どもの底力を出会わせようという内容でご講演いただきました。いただいた資料の中に、幼児から中学生までを対象としたお</p>

	<p>すすめ絵本リストがありました。それぞれの現場で役立てられていると思いますが、私も今でも少しずつ、リストの中から1冊1冊と読み、「こんな本もあって懐かしくなった。」と、振り返ることがあります。</p> <p>また、ネタのタネ講座では私にもお声掛けいただき、国本先生と2人でお話をさせていただく機会がありました。私の方からは、2学期から現場で即実践していただける内容を選び、ストーリーテリングとか、アニメシオンの方法を紹介させていただきました。それらは、子どもたちが本に興味関心を持ってくれるよう、ちょっとした工夫で楽しみながらこんなこともできるよという内容だったと思います。</p> <p>それらは、現役時代に私が実践してきたものばかりでどの先生方でもやろうと思えばいつでも実践できる内容のものだと思っています。</p> <p>終わってからたくさん先生方から「ぜひやってみたいです。」「他にはどんなものがありますか。」などの感想や質問を結構いただきました。</p> <p>大人も楽しみながら、子どもたちに本を手渡す方法をみんなで知恵を出し合えば、ちょっとした隙間時間、朝や帰りの会でも取り組めるのではないかと考えています。</p> <p>そういった具体的な動きの一つ一つの積み重ねが本で子どもの育ちを応援することに繋がるのではないのでしょうか。今日これからの会議の進行、そういうことも含めながら協力していただきたいです。</p>
事務局	<p>それではこれより議事に入ります。当会設置条項第6条第1項の規定によりこの後の進行は市島委員長にお願いいたします。それではお願いします。</p>
委員長	<p>それでは議事進行に入らせていただきます。</p> <p>本日の次第により進めていきます。</p> <p>まず、はじめに、指標の進捗状況について担当課よりご報告願います。</p> <p>学校教育課さん、学校司書の配置の割合についてお願いします。</p>
委員	<p>今年度までは学校司書は4名でお願いしていましたが、来年度は5名でお願いする予定です。</p>
委員長	<p>2番目、1ヶ月に1冊以上本を読んだ子供の割合について学校教育課、続いて高等学校からお願いします。</p>
委員	<p>11月にアンケートをしまして、小学校の方では93.5%、中学校では90.5%になっております。</p>
委員長	<p>高等学校さん、どうでしょうか。</p>
委員	<p>これは先日お送りしたデータの集計になると思うのですが、県としては全国平均より高い数値になっています。1冊以上、本を読んだ生徒の割合としては多いですが、たくさん読む生徒がいるとばっと数値が上がってしまうので、そのことも含めて数値を見ていただければと思います。</p>

委員長	ありがとうございます。それでは、生涯学習課さんによる、家で10分以上の読書を継続している子どもの割合についてお願いします。
事務局	小・中を出していただいた結果となっていますが、左側に書かれているのが昨年度の結果です。小4、小6につきましてはアップしているんですが、他の学年は数値がダウンしています。
委員長	ありがとうございます。ご報告いただくよりも、ここを見ていただいた方が早いかなと思います。気になる数値とかも、もっと詳しくこのところを知りたいということがございましたらお願いします。
委員	移動図書館が2年目に入り、利用が落ち着いてきました。2年目の学校は利用が伸び悩んでいますが、新たに2カ所巡回がスタートしたので、全体の貸出冊数は前年度を上回ることとなります。
委員長	あとございませんか。 それではなさそうですので、次の協議事項に入りたいと思います。 今年度の取り組みについて事務局より報告をお願いします。
事務局	本委員会では4月23日の子供読書の日と11月の市民読書月間に向けての読書推進の取り組みを進めてまいりました。 4月の子供読書の日では小・中学校に子ども向けのおすすめ本のポスターを配布しました。また就学前施設の保護者さん向けに「うちどく」のリーフレットを配布しました。 また夏休みに読書の機会が増えるようにということで、小学生の子どもと保護者さん向けに学校司書さん、図書館の司書さんにおすすめ本を伺って、そちらを載せた「うちどく」リーフレットを配布しました。 11月の市民読書月間では、各小中学校の図書室にあるおすすめ本を学校司書さんへ選書していただいてポスターを作成しました。各学校の図書室やクラスに掲示していただいたり、またポスターに掲載された本を図書室や廊下など手に取りやすいところに置いてくださったりと、意識して取り組んでくださる学校が増えたように思っております。以上で報告を終わります。
委員長	ただいまの事務局からの報告について、ご質問やご意見はございませんか。 ポスター作成につきましては、学年の廊下等に掲示していただいて手に取りやすいところに本を置く等して取り組んでくださってるご報告ございましたけれども、現場のもう少し細かな取組で、何かございますか。いろんな現場からの声を聞かせていただきたいと思います。
委員	第1回目の会議に出席させてもらって、本の読み聞かせや読書に力を入れないとい

	<p>けないなっていうのを私自身も強く感じまして、園の方で園長とも相談しながら取り組みました。</p> <p>夏休みにちょっと親子で絵本を読む機会ができるといいなということで、「親子で絵本タイム」というすごろくみたいな感じで本を読むチャレンジできる企画をしました。</p> <p>年度末に保護者のアンケートをとる中で、絵本の興味が広がったかという項目でABC評価があるのですが、昨年度よりC評価が少し減っていました。保護者の意識も少しずつ変わっているように感じます。</p> <p>また、クラス内でも担任が意識して本を読むようになり、研修をした中で昔話の大切さを学んだりしながら、ちょっと意識して読み聞かせに取り入れたりしています。その中で、子ども自身も初めの頃は集中がなくて絵本に集中できなかった子も、やっぱり繰り返し毎日していく中で集中して見てくれるようになったと担任として思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。精力的に取り組んでいただいていますね。親子で楽しむというあたりでは、絵本なんかを中心に出てくる主人公の顔で、福笑いみたいなものを作ったり、それからすごろくのようなものを作って遊んだりすると、さらに絵本の世界が広げられると思います。また一度やってみてください。</p>
委員長	<p>小学校は、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>「伝えるって面白い」をテーマに校内研究の4部会で読書を取り入れています。月に1回の教師読み聞かせを月2回に増やしたり、11月には読書郵便の取組をしたりして、保護者からも好評でした。ただ、低学年は取り組むのですが、高学年は取り組んだ子が0でした。読書ボランティアさんの朝の読み聞かせや図書室の掲示、イベントは子どもにも好評で、イベントをすると人が集まりますが、やはり低学年が中心です。また、日常の図書室は本好きな子どもばかりだという現状です。図書委員会が企画する読書ビンゴも、低学年はよく参加してくれますが、中学年以上は読書より友だちとの遊びが楽しいようで参加が少ないです。</p>
委員	<p>中学校でも校内研究とからめて、積極的に図書を活用した学校づくりを進めています。月・水・金曜日に図書室を開けていますが、図書室に来る生徒は少ないです。授業では、国語以外の教科でも図書の活用をすすめました。ブックトークを取り入れるなど、社会、数学、道徳、英語で司書さんと一緒に授業をすることができました。先生方の中に図書を活用する気持ちが芽生えたと思います。</p>
委員	<p>授業で活用されると、図書館に来る生徒も増えています。特に図書館で授業をした2年生の貸出が増えました。まず、図書室を使わないと認知してもらえないです。授業で図書室に人を呼び、貸し出しをつなげるために読書案内をするというそれぞれのアプローチが必要です。「物語って面白いよね」と伝える機会が少ないと思います。中学校で授業をするのには、準備で3週間かかります。事前の調査と教師との綿密な打ち合わせが必要になってきます。</p>

委員長	準備期間のことなどを考えると、やはり年間計画が大切になってきますね。では、高等学校さん、お願いします。
委員	高校では、図書館部会で複数校が集まり、テーマをかえて司書オンリー、司書と教員とで研究を進めています。アプリで無料で本が読める今、「図書館に行ってみよう」と気持ちを起こさせる工夫が必要だと思います。図書館を文化的な施設としてコラボイベントの実施をしています。他校の文化部の作品展、図書館カフェなどの企画をし、イベントに関わる本の紹介をしています。本を借りる以前に「図書館って面白い」と思えるようにアピールしています。市立図書館にて、図書委員おすすめ本紹介文を展示して頂きました。また、部活と勉強で忙しい高校生が、図書館に必然的に来る時間を全学年、1時間は確保していただき、ビブリオトーク、ブックトークの授業を司書がする時間も取っています。小説以外の本だと読みやすいという生徒もいるので、お試し読書の紹介をしたり、百科事典の使い方を知らないという生徒が8~9割いたのでヨシタケシンスケさんのシートを使ったポプラディアの使い方の授業もしました。ネットには即時性があるが、信頼性の低さも教えながら、本の重要性を伝えていきます。まずは、本の面白さを感じられる機会が必要だと考えています。
委員長	ありがとうございます。この取組が、来年度、さらに前に進むようにお願いします。それでは、次の協議事項に入ります。今年度の取組について、事務局よりご報告をお願いします。
事務局	4月23日「子ども読書の日」に向けて、昨年度と同様に、おすすめ本の紹介ポスターと就学前の保護者向けにリーフレットを配布したいと思っています。ポスターについては、子どもたちの意識を高めるために、現在、各小・中学校で読書に関わるイラストの募集をしており、集まったイラストと学校図書館司書さんのおすすめ本を載せようと思っています。リーフレットは、今年度配布したものと同じものです。提案は以上です。
委員長	ただいまの事務局からの提案について、質問やご意見はありませんか。今までにはなかった取組ですね。
事務局	はい、子どもの作品を取り入れるのは初めてです。図書館にくる子を中心に呼びかけていただき、参加してもらいたいです。
委員長	それでは、ポスターとリーフレットの作成をすすめていただきたいと思います。
事務局	資料をご覧ください。来年度、「第3次子ども読書活動推進計画」の策定があります。これまでの経緯やメンバー、計画については、別紙の通りです。アンケートについては、今回はgoogleフォームを使う予定です。ただ、小学校2年生は、タブレットでの回答が困難ではないかというご意見も担当者会で頂戴してい

	<p>ます。挙手での回答、紙での回答等、良い方法があれば教えていただきたいです。集計は生涯学習課で、分析は、担当者と委員の方とで項目ごとに分担して行いたいと思っております。分担の案ですが、内容と校種で分かれていただきます。委員の皆さん、ご意見ください。</p>
委員長	<p>では、委員の皆さん、ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>就学前のアンケートの②「読むこと」になっていますが、まだ読めないで「見ること」にしたらどうでしょうか。それから、④の「どれぐらいの時間、本を読んでいますか」のところには、「1日あたり」を入れてはつきりさせたほうが良いと思います。</p>
委員	<p>絵本に触れたりページをペラペラめくって楽しむような子もいますね。「読んでもらう」で良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>⑩の質問で「市立図書館（近江八幡図書館・安土図書館）」となっていますが、ここは公立図書館でも良いのではないのでしょうか。親御さんが隣の市にいるからよく行くというような話をブックスタートで聞いたこともあるので、近江八幡市の図書館と限定しなくても良いと思います。</p>
委員	<p>③の質問で「読んでいなければ※⑧へ」と書いていますが、⑧にいくと「質問④」とあるので、「質問③」の間違いだと思います。また、③の質問で読んでいる人にも「※そのまま④へ」と入れておく方が良いと思います。</p>
委員	<p>③の質問項目を「毎日→ほぼ毎日」、「1週間に3日以上→3回以上」「1週間に2日ぐらい→1, 2回ぐらい」「読んでいない→ほとんど読んでいない」という文言に変えたらどうでしょうか。</p>
委員	<p>「電子書籍」とありますが、スマホ等で読んでいても、この言葉を使わない、あるいは馴染みがない生徒が多いです。この調査は、紙と電子媒体の両方を聞きたいのでしょうか。それであれば、「本」のあとに、「紙の本、スマートフォン、タブレット、パソコンで読む本すべて」というように追加した方が良いと思います。</p> <p>⑨の項目は、ジャンルと媒体が混ざっているので、電子書籍は削除した方が良いでしょう。</p> <p>また、③のきっかけを問う質問の「映画・ドラマの原作だから」に「アニメ」も追加していただきたいです。また、SNSで紹介されていた本を読む生徒が多いので「SNSで紹介されていたから」という項目を追加すると良いと思います。</p> <p>⑩の図書館の利用は、本を借りないけれど暇つぶしや学習に行くという子もいるので、「行くだけでもよい」というような文言を追加すると良いのではないのでしょうか。</p>

	<p>(確認)</p> <p>※就学前②「読むこと」→「読んでもらうこと」</p> <p>※就学前③選択肢に「※そのまま(4)へ」という指示を入れる</p> <p>※就学前④「一日に」を追加</p> <p>※就学前⑧質問(3)→質問(4)に変更</p> <p>※就学前・小・中・高⑩「市立図書館」→「公立図書館」に変更</p> <p>※小・中・高③「映画・ドラマの原作だから」に「アニメ」を追加</p> <p>※小・中・高⑨「電子書籍」の項目を削除</p> <p>※小・中・高⑩「行くだけで本を借りない場合も含めます」という文言を追加</p>
事務局	小学2年生のタブレットを使つてのアンケート実施は、難しいでしょうか。
委員	学校 ICT の活用は進んではいますが、ログインに時間がかかります。学校によって実態も違うかと思ひます。
委員	正確な数値を取りたいということであれば、紙や挙手の方が良いかもしれません。
委員長	何校かに聞いてみてはいかがでしょうか。
事務局	はい。では、現場の先生にご意見を伺ひ、良い方法を考えます。就学前の保護者の方は、スマートフォン等で回答していただひだけそうですね。
委員	はい。できると思ひます。
委員	学校の ICT 環境では、クラスで一氣にネットをつなぐことは難しいので、2年生全員に配布して、いつでも回答するようにできないでしょうか。その場合、50%を越えたり、満たなかったりすると思ひますが、それでもよろしいでしょうか。
事務局	今後、生涯学習課内で検討し、各高校に依頼したいと思ひます。
委員	アンケートに空欄があつても終了になるのでしょうか。何か当てはまるものがなかつたら、空欄にしてしまう人が多いので。まあいいかつて飛ばしちゃうかなつて思ひます。よく職場でアンケートをとることがあるのですが、自分が当てはまらないなと思つたら答えない人が結構います。それで、全然集計取れないので、それだつたらもう全部埋めないで駄目なように最初から設定しておいた方が良くと思ひます。
事務局	ありがとうございます。フォームの設定で必ず回答していただひくようにしたいと思ひます。

委員長	ご意見ありがとうございました。来年アンケート調査、分析でご協力することも多いかと思いますが、お願いします。では、次に計画推進のための方策である「大切にしたい4つの読書」と進捗管理のための指標について、事務局よりお願いします。
事務局	<p>まず、お願いです。現在の推進計画の方策として、「大切にしたい4つの読書」というものがあり、進捗管理のために、はじめにご報告いただいた指標が設けられています。来年度は、取組の最終年度となりますので、各担当課と学校園での活動やお取組の中で意識していただきたいです。</p> <p>次に指標のデータについてです。現在の指標は4つの読書との関連が明確に分けられていない、アンケートを取らないと取組の成果がわからないという課題があります。他市町の指標を調べてみますと、研修会の実施回数や参加率、リーフレット等の配布率等で目標値を設定されているところが多いです。</p> <p>そこで、まずは各課や学校、図書館で今わかるデータは何があるのか、どのような数値であれば把握ができそうかを確認していただき、後日ご報告いただきたいです。来年度、4つの読書を推進する方策や、進捗管理ができる指標づくりに役立てたいと思います。</p> <p>最後にご検討いただきたいことです。今、取組を進めている4つの読書活動については、第3次でも引き続き取り組んでいきたいと考えています。現在、4つの読書活動を支える基盤、情報や技能を学ぶ機会として5つ挙げられていますが、この内容についてご意見を頂戴したいです。</p>
委員長	ただいまの事務局からの提案について、4つの読書活動を支える基盤について、質問やご意見をお願いします。来年度はこの基盤の検討が重要になってきます。基盤に基づいて、何ができるのかを考えていただきたいです。
委員	今の取組の中に「物語を味わう」という要素があまりないと思うので、「心あそばせる読書」にそういった要素を入れてはどうでしょうか。
委員長	なるほど。図書館では「物語を味わう」ことについて感じておられることはありますか。
委員	はい。物語を味わうことは、読書の根幹だと思っています。読書をすることで、主人公になりきって物語を味わったり、他者への共感をしたりすることができると思います。
委員長	「心あそばせる読書」の中に、「物語を味わう」ことや「心の成長」といった内容も入れていくと良いですね。
委員	「心あそばせる読書」という言葉も良いが、「心に響く読書」にしてはどうでしょうか。

委員長	<p>「心あそばせる読書」の学校の取組に、読み聞かせなどが入るとよいのではないかと思います。</p> <p>また、「続ける読書」で続けることによって何が育まれるのか書いた方がよいと思います。</p>
委員	<p>ICT とのつながりが「学べる読書」に入るとよいのではないのでしょうか。</p> <p>今後、情報を扱うことについてどこかに取り入れていく必要があると考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。具体的には、来年度、実態調査の結果を受けて、第3次での方策をどうしていくか考えていきたいと思います。</p> <p>では、他にございませんか。</p>
委員	<p>読書ボランティアをさせていただいている立場から言わせていただきます。今、ボランティアの人数が先細っているという現状にあります。5, 6年前でしたら、小学校低学年ぐらいまでのお母さんがお仕事をせずに、ちょっとボランティア活動から社会復帰をして、4年生5年生ぐらいになったらお仕事を始めようかという感じだったので、若いお母さんたちとあとは65歳ぐらいの上のお母さん世代の方と一緒にボランティア活動することができていたのですが、今現在、皆さんよくご存知だと思うのですが、ほとんどのお母さんがもう小学校入られるかその前からお仕事を始められてます。ですので、幼稚園に通ってらっしゃるお母さんたちのボランティア活動というのはまだしっかりとできていると思うのですが、小学校でボランティア活動に参加してくれるお母さんがほとんどいません。</p> <p>正直、今後ちょっとかなり厳しい状況で、私自身もいっぱいいっぱいの状況の中でボランティアをしておりますので、このままだと読み聞かせボランティアというのがちょっと難しくなるんじゃないかなと正直思います。</p> <p>去年から読み聞かせボランティアの研修をさせていただいて、とても勉強になったのですが、今いるボランティアさんを育てていただくのも非常に大事なことなんですけれども、まだ参加されていない方にそれを促していくような活動をぜひしていただけたら嬉しいです。実際にボランティアさんへの研修案内というのも、ボランティア団体の方には来るんですけども、一般のお母さんたちとかには届いていない状況です。「こんな研修があったのか」という方もやっぱりいらっしゃると思います。コミセンに行って、片っ端からつかまえて「何か読んでくれませんか」と言ったら「私、やってみたかったんです」とおっしゃる方もいました。その方が、今すごく頑張ってくださいています。今は学校の先生を通して集めていますが、市の広報等で市内全体にボランティアの募集や研修案内もしていただきたいです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。来年度は読み聞かせボランティアさんと学校の図書館担当の先生向けの研修を一緒に行いたいと思っています。市内全体に案内ができるように考えます。</p>

委員	<p>子育て支援センターでは子育て教室を実施しています。0～2歳児のお母さんに絵本との出会い直しをしてもらっています。子育て支援センター、子どもセンターにも読み聞かせの取組はあるので、「家庭・地域」の中にあるセンターのことも触れてほしいです。</p>
委員長	<p>いろんなボランティア研修に入ったことがあります。私、私もボランティアを始めよう」という方でもう最初の段階でつまづかれる方がいらっしゃいます。「意気込んでやろうと思ってきたんだけど、どうしていいかわからない」という声を結構聴きます。だから、学校の先生方もちょっと話しやすいお母さんたちに「ボランティアさん、どうですか」という声かけをしていただいて、そういうのも一つきっかけづくりとして効果的ではないかなと思ったりもしています。</p> <p>熱心な話し合いありがとうございました。では、本日の議事は終了しましたので、ここで議長の任を解かせていただきます。みなさま、ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>皆様、本日はお忙しいところありがとうございました。各課や学校で把握されているデータや情報についてのご報告については、ご担当者様に後日、依頼させていただきますので、生涯学習課までお願いいたします。本日は、皆さまありがとうございました。</p>

担当課 ⇒ 総務課